

甲斐市立玉幡小学校 令和4年度 学校だより 第12号



# チーム玉幡

令和4年11月22日 文責：小林 正彦

## 道徳公開授業

### ありがとうございました

前号でもお知らせしましたが、11月2日と9日の2日間、道徳の公開授業が行われました。お忙しい中、お時間の都合をつけ参加いただきありがとうございました。この道徳公開は、本来、地域の方々にも学校を開放し、学校・保護者・地域の方々为一体となって、子ども達の成長を見守っていくために行うものです。感染症蔓延のため、地域の方々への開放ができないことがとても残念です。

「特別な教科 道徳」については、昨年も学校だよりで紹介しましたが、今年度も少し触れておこうと思います。「教科」ですので、「道徳の教科書」があり、その内容を元に学習します。「算数」とはちがひ、何か「答え」を求めため、「答え」に導くための教科書ではありません。教科書に載っている題材を元に、「自己を振り返り、生き方の考えを深める」ことを目指しています。

「振り返り」や「深める」ためには、『考える』ことや、『考えを友だちと交流する』ことが必要になります。どの学年、どの教室でも、必ずこの活動はあったと思います。これからも、子ども達が自分を肯定的に捉え、自尊感情を抱くことができる授業を目指したいと思います。

授業後多くのご感想も頂きました。お忙しい中ありがとうございました。全職員で確認し、今後に生かしたいと思います。

## 防災の意識を！

11月10日（木）には、「予告なし」の避難訓練を行いました。子ども達にとっては、「自分の命は自分で守る」という心構えと共に、自分のとるべき行動を学ぶ場として実施しました。校庭にいる児童は、即座に中央に集まり身を低くしていました。校舎内からも大きな声は聞こえず、静かに避難行動をとっていました。数多くはできませんが、今後も計画



できればと思います。

少し前になりますが、11月6日（日）には、甲斐市の防災訓練がありました。避難所となる学校の体育館には、下八幡一区、二区の区長様及び担当の方々が集まり、市役所の方々と打ち合わせを行いました。また、仮設トイレの設置訓練を併せて行いました。



## 盛り上がる児童会活動

10月と11月の児童会のめあては、「えがおで相手の心に届くあいさつをしよう」です。児童会本部役員のみなさんは、全校児童が意欲的に取り組めるようにと、給食時のテレビ放送で呼びかけてくれました。『玉小エイトヒーローズ』があいさつの大切さを、演劇を通して呼びかけてくれました。私も少し登場させ

てもらったのですが、児童会本部のみなさんの役者ぶりに圧倒されてしまいました。あいさつの木の葉っぱも増えてきました。



1学期から行っている「なかよしタイム」は、6年生の計画のもと、先生方は見守ることを中心に、できるだけ子ども達だけの運営で実施しました。鬼ごっこやドッジボールなど、低学年でも楽しめそうなルールを工夫し、楽しそうに活動していました。



「玉小ツリー」は、今は「友達のがんばっていたところ」に取り組んでいます。児童会本部の人たちが昼の放送で紹介してくれています。廊下の木がたくさんになってきました。



この他にも、「アフリカ飢餓救援米」や「赤い羽根共同募金」の活動も行いました。ご協力いただいたご家庭の皆様、ありがとうございました。



## 小中の連携を！

11月15日（火）には、玉幡中学校の生徒による特別授業が、6年生児童に向けて行われました。陸上記録会の練習など、今までも中学校との連携は行ってきましたが、今回は、中学校3年生の生徒が、

中学校生活について説明するという内容でした。単に様子を説明するのではなく、「小学校と中学校の違いは？」という質問から始まりました。6年生のみなさんは、積極的に手を挙げて答えていました。



途中、中学校で取り組まれている「フリーストック」を体験しました。テーマに合わせて自分の考えを伝え合



っていましたが、とても楽しそうに感じました。その後、ゲストティーチャーによる特別授業が行われましたが、拍手で共感する姿勢を学んでいました。

話を聞くときの姿勢だけでなく、中学生の呼びかけにしっかり返事をして、素早く行動する姿は、さすが玉幡小学校のリーダーと感心しました。

## 八幡芋収穫しました

11月16日（水）には、3年生が今まで育ててきた八幡芋を収穫しました。学習ボランティアとして地域の坂本様にご指導を受けながら、今まで大切に育ててきました。総合的な学習の中では、「やはたいものよいところ」を自分たちでまとめていました。収穫時には、とても意欲的に活動して、うれしそうにたくさんの芋を掘り出していました。



